

私が過ごしたミッションでの6年間

今を遡ること6年前の2003年、高校受験によって寸断されることのない、生徒一人ひとりに合わせた学習プログラムの実現を目指し、「中高一貫教育」を導入した北陸学院。このインタビューシリーズでは、夢への確かな一歩を踏み出した第一期目の卒業生たちに、「勉強プラスもうひとつ」を教育方針とする北陸学院で過ごした6年間を振り返ってもらいます。



「信頼できる友人や先生が自分を大きく成長させてくれた」

伊藤 遼 さん | 京都産業大学

経済学部 経済学科1年

いとう りょう

月刊北國アクタス2009年10月号掲載記事

Realize Your Mission
あなたの使命を実現しよう

<http://www.hokurikugakuin.ac.jp/sj/>

個性を大切に するミッションの校風

中学受験を決めた理由は？

小学校から高校卒業までミッションで過ごしました。中学入学時には、校区の学校へ通うことも考えましたが、児童や生徒一人ひとりの個性を大切にしたいという校風が自分に合うことや中高一貫教育の1期生になるのも何かの縁だと思って受験を決め、合格後は中高一貫進学コースに進学しました。

僕の家はクリスマスチャンではありませんが、礼拝は小学校から体験してきたので、中学生になったころには、生活の一部のように感じていました。最近、生活のいろいろな場面で、「あの時の言葉はこういうことだったのか」と礼拝の言葉を思い起こすことがあり、礼拝で聴いた人生の先輩の体験談や説教が人生の土台になっていることを実感します。

仲間、そして恩師と歩んだ 充実の6年間

あなたにとっての「勉強プラスもうひとつ」は？

高校では3年間野球に打ち込みました。僕には中学時代に野球の経験がなく、2年生の夏にキャプテンを任された当初は、中学で野球部に所属していた後輩への気後れもあって、厳しく指導できました。

「本当に自分がキャプテンでいいのか」と悩む僕を、「少しずつできることからやってみよう」と励ましてくれたのは、チームメイトでした。優しく、時には厳しいアドバイスのおかげで、3年生になるころには後輩への指導もすっかりできるようになり、チーム全体にまとまりが生まれました。キャプテンとして野球を続けられたのは、チームメイトや親身になって相談に乗ってくれた監督のおかげ

げだと感謝しています。

部活動以外で一番印象に残っているのは、クラスごとに脚本から配役まですべてを生徒が行い、全校生徒の前で発表する演劇コンクールです。クラスメイト同士時にはぶつかり合いながらも、手作りの台本がロボロになるまで練習した日々は、忘れられない思い出です。



中学校の演劇コンクール(写真中央が伊藤さん)

初めて進路指導の先生に相談に行ったとき、中学・高校の6年間の活動や勉強の得意不得意などを考慮して選んだ大学の資料が、すでに用意されていたことに驚きました。生徒一人ひとりに専用の受験資料を用意してくれただけでなく、推薦・一般のどちらの入試制度に対しても、丁寧に添削や指導をしてくれました。

現在通う京都産業大学は、オープンキャンパスの雰囲気やいろいろな人と交流できる総合大学だということに魅力を感じ、推薦で受験し、合格できました。センター試験後には、両親から「他校も受験してみても」と勧められましたが、京都産業大学で学びたいという意思が強く、進路指導の先生も「自分が行きたい大学へ行くのが一番」と僕の気持ちを尊重してくれましたので、センター

入試後の受験はしませんでした。今は将来の目標もあり、充実した日々を送っているのですが、あの時の選択は間違っていないと確信しています。

入試後の受験はしませんでした。今は将来の目標もあり、充実した日々を送っているのですが、あの時の選択は間違っていないと確信しています。

「人を幸せにする経済学」を学びたい
大学生生活や将来の夢、目指していることは？

京都へ来たころは環境の変化にとまどいもありましたが、北陸学院で培ったお互いを認め合い、友を大切にすることを周囲に接していくうちに新たな友人の輪も広がりました。

大学では経済学を専攻しています。企業を潤すことが社会全体への貢献につながると考えているので、経済学イコール単なる利益の追求ではなく、「人を幸せにする経済学」を学び、将来はファイナンシャル・プランナーとして自分の力を活かしたいと思っています。

用意されていたのは「僕だけの受験資料」

「ミッションは推薦に強い」といわれますが、学校のサポート体制は？

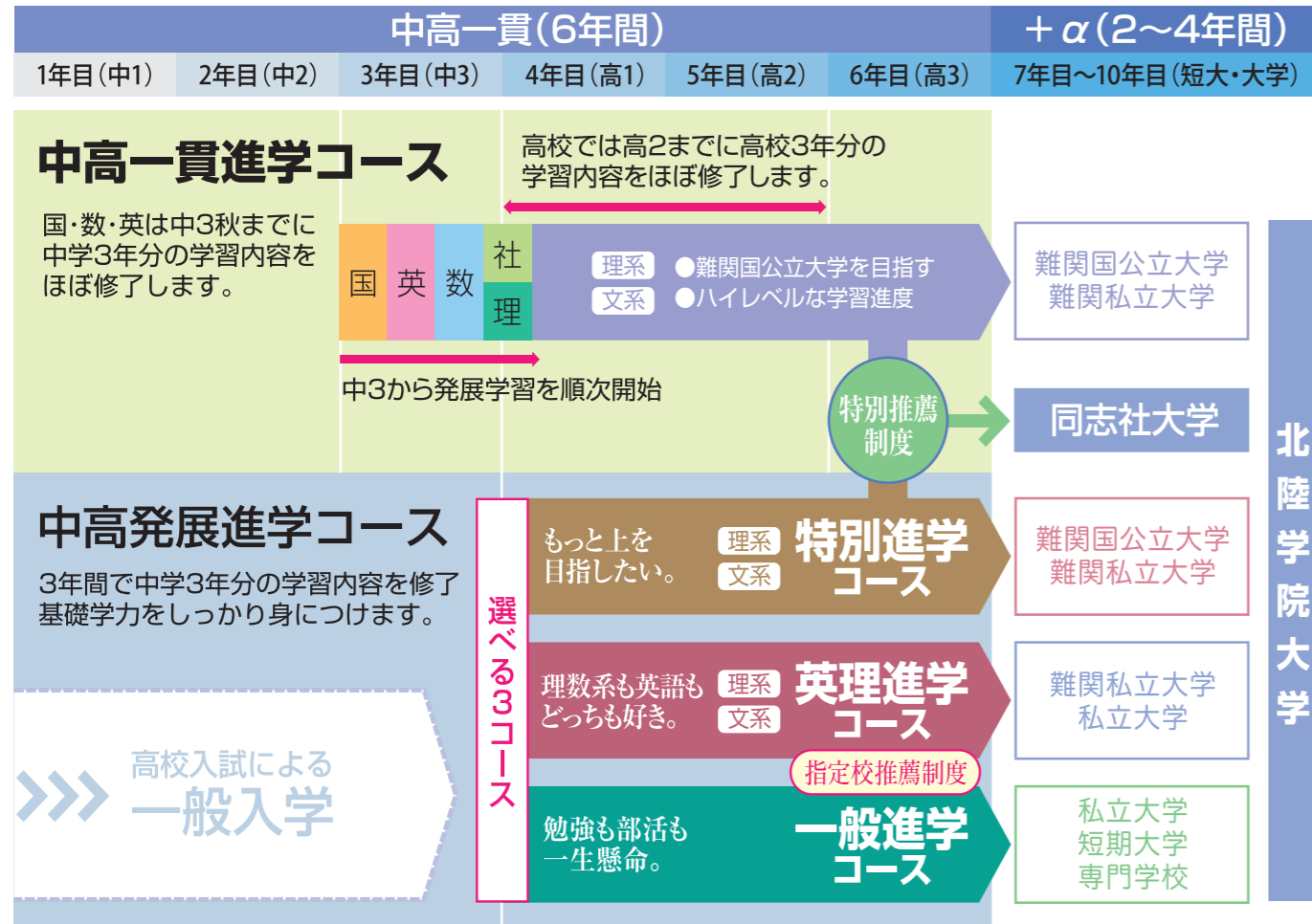


北陸学院は2010年に創立125周年を迎えます。

ミッションの10年Story

個性に合わせて広がる未来

大学を含めた10年間をひとつの教育期間と考え、広い視野をもった人間味あふれる社会人を世に輩出しています。



北陸学院の「中高一貫教育」

なぜ今「中高一貫校」なのか

子どもが小学校高学年になると、保護者の間で「中高一貫」「受験」という言葉が聞かれるようになります。中高一貫教育の最大のメリットは、基礎学力の低下という「ゆとり教育」の課題を解消し、6年間で効率的に学習を進められることにあり、「子どもにやさしい教育」として中高一貫校を選ぶ親が全国的に増加しています。

北陸学院中学校・高等学校の特色ある「2つのコース」

北陸学院は、2003年度より県内初の「中高一貫教育」を実践してきました。北陸学院中学には、6年間のカリキュラムで全国の難関国公立大学を目指す「中高一貫進学コース」と中学で基礎学力を身につけ、高校入学時に自分に合ったコースを選択できる「中高発展進学コース」があり、どちらのコースも、早い時期に基礎的な学習能力の土台を固めます。そのため、子どもたちは、部活に、学校行事に、また好きな習

「ミッションの中高一貫教育」という選択

今春、北陸学院初の「中高一貫カリキュラム修了生」たちが、大学受験においても立派な成績を収めました。

無限の可能性を秘めたお子さんの未来のために...



少人数制による丁寧な指導で生徒の能力を引き出す



人格形成に大きな役割を果たす毎朝の礼拝

い事に取り組み、彼らの人生にとって大きな財産となる友人との時間を楽しみながら、無理なく大学入試への準備を整えることができます。また、北陸学院では、キリスト教教育を軸とした心の教育をすべての土台としており、思春期を迎えた多感な子どもたちの、人間的な成長をしっかりとサポートします。

推薦と一般、どちらの入試制度にも強くなる

大学入試において、推薦に強いことも北陸学院の大きな特徴です。同志社大学とは、教育連携協定を結び、2011年度より15名程度の特別推薦枠が設けられる予定です。また、キリスト教学校教育同盟校として、関西学院大学や青山学院大学にも多くの指定校推薦枠を有しています。これらの大学をはじめ、全国95校^{※1}への指定校推薦、公募制推薦、AO入試^{※2}などの制度を利用し、夢を叶えた先輩たちが充実したキャンパスライフを謳歌しています。

さらに、中高一貫カリキュラムの成果が初めて試されることとなった今春の入試においては、合格実績の約40%を一般入試が占める結果となりました。(実績の詳細については左ページをご覧ください)

※1 2009年4月現在
※2 アドミッション・オフィス入試(出願者の人物像を学校側の求める学生像と照らし合わせて可否を決める入試方法)

中高一貫「第1期卒業生31名」の合格実績 (2008年度:すべて現役合格)

- 中高一貫・特別進学コース
 - [国公立大学] 金沢大(人間社会、理工) 2名 富山大(工、経済) 3名 はこだて未来大(システム情報科学)
 - [私立大学] 青山学院大(文) 関西外国語大(外国語) 関西学院大(法) 京都産業大(経営、経済) 6名 京都女子大(現代社会、文) 3名 京都精華大(マンガ、芸術) 3名 近畿大(経営、経済) 2名 芝浦工業大(工) 2名 中京大(現代社会、総合政策) 2名 東京薬科大(生命科学) 日本女子大(理) 法政大(国際文化、文、理工) 5名 武庫川女子大(文) 3名 明治学院大(国際、文) 2名 桃山学院大(経営、社会) 2名 立命館大(映像、経済) 2名
 - 英語コース(2007年度より英理進学コース)
 - [私立大学] 学習院大(法) 国際基督教大(教養) 上智大(法) 北陸学院大(人間総合)
 - 一般進学コース
 - [私立大学] 青山学院大(経営) 京都精華大(芸術、人文) 3名 京都ノートルダム女子大(人間文化) 女子美術大(芸術) 玉川大(リベラルアーツ) 同志社女子大(学芸)
- ※「のべ人数」による実績。高校からの入学者の実績は含んでいません。

これからの予定

北陸学院中学校
2010年度 学校・入試説明会

2009年10月24日(土)
学校・入試説明会

2009年11月14日(土)
入試問題解説

- 対象/小学校6年生の児童とその保護者、小学校教員
- 時間/午前開催
- 場所/北陸学院中学校
- お問い合わせ/TEL.076-262-3012

※都合により変更になる場合もあります。